

(翻訳) なぜ私がサンノゼ州立大学 iSchool の図書館情報学修士プログラムに登録したことに感謝しているのか

Phillippi, Stella. "Why I am Thankful I Enrolled in the SJSU iSchool's MLIS Program," 2017.10.17. <https://medium.com/sjsuischool/why-i-am-thankful-i-enrolled-in-the-sjsu-ischools-mlis-program-9e5b2f21c688>, (参照2018-03-30).

東山 由依 (文学部文学科日本文学専修)

ステラ・フィリッピ

ライブラリアン養成の学習中、ゲームプレイヤー、動物愛好家

2017年10月17日

なぜ私がサンノゼ州立大学 iSchool の図書館情報学修士プログラムに登録したことに感謝しているのか

私のサンノゼ州立大学情報学研究科での時間がもうすぐ終わろうとしています。私はこの春に図書館情報学修士号を取得して修了する予定で、大学院でのキャリアが終わりに近づくにつれて、私は自分がどれだけ iSchool の学生を楽しんだか、ということについて考え続けています。iSchool の学生でいることは簡単だったと言っているのではありません。大学院レベルの学習に加えてフルタイムの仕事をする中で、私の時間のほとんどが限界ぎりぎりで、人生の大きな出来事もいくつかあって、私は壊れる寸前でした。しかし私は孤独に感じたり、仲間の学生たちあるいは iSchool の教員から見捨てられ、気かけられないというような気持ちを決して感じたりしなかったのも、何とか一緒にやっていくことができました。みんなが非常に親切で、iSchool の学生のはじめの日から勇気づけてくれていました。

私が iSchool で図書館情報学修士プログラムを始めたとき、アカデミックの世界に戻ること非常に緊張していました。学校を出てから8年が経っていました。当時はたくさんの変化があって、オンラインの学習環境は私にとって完全に新しいものでした。学習量や課題、講義について何を期待すべきか、確信を持てませんでした。幸運なことに、他の学校とは違い、この iSchool には、全学生が学期開始前に受けるテクノロジーの科目があります。

この科目が開講されたとき、学習管理システムを理解するのに長い時間がかかるだろうと考え、私はすぐに学習にとりかかり始めました。ですが実際には、INFO 203 の科目内容と学習内容にいい意味で驚きました。それはとても簡単で、簡単すぎると言ってもいいものでした。私は学習のほとんどをかなり速く、すばやく終えました。学習をすればするほど、Canvas や図書館のサイト、アメリカ心理学会が定める論文の書式 (APA スタイル) について自信を持てるようになりました。また、講義やグループワークがオンライン上でどのように機能するのか非常に不安でしたが、INFO 203 の一部として、それらの領域でも経験でき、技能を得ることができました。私の質問を受け付けてくれる教授がいることは助けになりましたし、メンターにも非常に感謝しています。私は彼女に、科目の学習量や時間の管理について、私が思いついたことはなんでも質問することができました。彼女の経験を聞くことは、自分の不安をいくらか和らげるのに役立ちました。科目の履修を終えたあと、私は次の授業に移り、決してふり返ることはありませんでした。

この学期は、INFO 203 のメンターになる機会をもらえて、私はそのチャンスに飛びつき

ました。その機会は、自分に必要な科目の技能を得ることに役立っただけではなく、次の学期のeポートフォリオの最終課題に費やす時間を作れるように、早く単位を取得し終えることを認めてもらえるものになりました。iSchoolに來ている新しい学生を支援することは刺激的でした。私はメンターの存在がどんなに有益かをすでに知っていたので、ほかの学生たちの心配をできるだけ解消させたいと思いました。INFO 203は、ほかの難しい科目が始まる前に、お互いに知り合える方法を私たちに与えてくれました。それは私たちの将来がどのようなものであるかを知ることができる「安全・安心な」環境でした。

オンライン学習は同じようにできていない

私はかなりの数の人が図書館学でオンラインの学位プログラムを履修しているということを知っています。彼らはさまざまな学校に出席しており、それらの科目の学習がどのように行われているのか、何に取り組んでいるのかを聞くことは興味深いといつも思っています。知り合いのひとりが違う学校のオンライン図書館情報学修士プログラムでちょうど学習を始めたところでした。彼女は履修している科目に非常に苦戦しています。私のiSchoolでの経験とは違って、彼女の学校にはINFO 203がありませんでした。彼女にとって初めてのオンライン学習の環境で、受講する科目で使用するソフトウェアや他のテクノロジーについて学ばなければならず、教員からの何の指導や支援なしにオンラインでグループワークをしなければなりません。

私はメンターだったので、彼女の失望感を理解したように感じただけでなく、彼女が受けるプログラムの時間をもっと心地よくさせることができるようなアドバイスをすることに全力を尽くしました。話をするにつれて、彼女が抱えている問題は、彼女とクラスメイトたちが学校のオンライン環境について、INFO 203で私が受けたような紹介がされていないからだとなりました。

彼女は学校が使用している学習ソフトウェアについて紹介されていませんでした。彼女は、ログイン方法は教えられ、すでに使い方を知っていること、もしくは科目の学習についていきながら、そのソフトウェアを自分自身で学ぶ時間をみつけることが期待されていたのです。そこには質問に答えてくれるメンターはいません。そのうえ、教授たちは、各科目の範囲外なので、テクノロジーに関わる問題について学生たちを進んで援助するかもしれないし、しないかもしれないのです。

またこの知り合いは、すべての科目内でグループ課題を抱えています。彼女とグループのメンバーは、チームの作り方、役割分担、グループのルールの作成、締め切りの設定、または物事が何かうまくいかなかったときに何をすべきかについての指導を受けていませんでした。かわりに、彼らはグループを作らされて、課題を完成させるよう伝えられました。これらの課題の締め切りは学期末にあるのみです。彼らは予定を調整したり学習を共有したりするための戦略や道具を与えられていませんでした。同じ問題に何度もぶつかり続けたので、これは私の知り合いにとって最大の試練になりました。

iSchoolのINFO 203の真の恩恵

私はINFO 203で過ごした時間と、メンターとしての経験に対して、私はよい準備ができたと感じています。その結果、私の知り合いが経験したような試練に対応する必要はありませんでした。なぜならINFO 203を修了したすべてのiSchoolの学生は、科目で何が期待されているのか、そして他者とオンラインの環境でどのように学ぶのか、ということへの理

解をもって他の科目に加わるからです。

INFO 203 から学んだ知識のいくつかを共有したあとに、私の知り合いは自分の学びに少しずつヒントを取り入れ始めることができるようになっていきました。うまくいけば、彼女の将来の学習にとってはプラスとなるでしょう。私が彼女のような経験をする事がなかったことに非常に感謝しています。iSchool の教員が、残りの図書館情報学修士プログラムの準備に役立つように、INFO 203 から始めることを全員に求めた選択をしたことに感謝しています。

INFO 203 への参加を計画することは、すべての学生が iSchool の道のりでよいスタートを切ることを確実にするでしょう。彼らは、プレッシャーの感じにくいような環境で受ける科目とはどのようなものかを経験できる機会が提供され、iSchool での時間を通して役に立つような知識や道具が与えられます。すべてのオンラインプログラムがこれと同等のテクノロジーの支援を提供していないことは不運なことです。以上のことから私は、サンノゼ州立大学の iSchool で図書館情報学修士号の学位の取得を選んだことを非常に感謝しています。